

事業シート(令和3年度決算)

事業名	42210	ごみ焼却処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
				項	2	清掃費		環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画				
				目	2	塵芥処理費		根拠計画				
担当課	環境政策部	生活環境課	ごみ処理場建設推進課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ焼却処理を実施する。	概要	・ごみの焼却処理及び焼却施設の維持管理を実施する。 ・焼却炉の適正な運転管理を行うため、設備の保守点検業務等を実施する。
----	---------------------	----	---

総合計画等	主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		727,833	710,239	332,457	330,937	327,414	△ 382,825
特定財源	国費(災害等廃棄物処理事業費補助金1/2)		133				△ 133
	県費						
	その他(使用料・手数料等)	95,620	86,685	95,620	95,620	83,137	△ 3,548
一般財源		632,213	623,421	236,837	235,317	244,277	△ 379,144
個票枝番	主な事業内容						
	資源リサイクルセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	494,000	478,095	162,000	162,000	145,355	△ 332,740
	久々野クリーンセンターごみ焼却施設の保守点検・整備	74,000	79,156	27,000	27,000	36,080	△ 43,076
	ごみ焼却施設の管理運営	82,833	81,324	76,457	74,937	79,202	△ 2,122
	資源リサイクルセンター廃棄物(木くず等)処理委託	70,000	64,982	60,000	60,000	60,109	△ 4,873
	久々野クリーンセンター廃棄物(焼却灰等)処理委託	7,000	6,682	7,000	7,000	6,668	△ 14

4.令和4年度予算編成(Action)

		R4予算	実施計画額	207,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
303,707	291,753	291,753	△ 40,704	
95,371	95,620	95,620	0	
208,336	196,133	196,133	△ 40,704	
査定額	説明			
147,000				
27,000				
74,753				
36,000				
7,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 350日間 久々野クリーンセンター焼却日数 176日間 設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 老朽化している2つの焼却施設の延命化対策を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 延命化計画に従い、2つの焼却施設の性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。 可燃性粗大ごみ及び焼却灰を適正に処理する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみの焼却処理及び施設の維持管理を適正に実施した。 資源リサイクルセンター焼却日数 350日間 久々野クリーンセンター焼却日数 186日間 設備の点検整備による性能維持及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、安全で適正なごみ焼却処理を継続して実施した。 焼却ごみ量に応じて2つの焼却施設の効率的な運転を行った。 可燃性粗大ごみを適正に処理していく必要がある。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 延命化計画に従い、2つの焼却施設の性能の維持を図り、安全で適正なごみ焼却処理を継続する。 可燃性粗大ごみ及び焼却灰を適正に処理する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な焼却処理、排ガス等の監視に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおり
--------------	------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	42215	ごみ処理施設建設事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	ごみ処理施設や火葬場の再整備をはじめとして、対応年数の長い公共施設の適正配置と施設整備を進め、生活利便性の向上と将来に負担をかけない市政を進めます。
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築		
				項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画		
				目	2	塵芥処理費						
担当課	環境政策部	ごみ処理場建設推進課	内線	2291								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ処理施設を建設する。	概要	・広く住民の理解を得て、ごみ処理施設の建設を進めるため、必要な調査等を行う。 ・ごみ処理施設建設に係る各種設計、建設
----	---------------------	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			(千円)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		49,700	38,992	80,270	80,430	46,506	7,514
特定財源	国費(循環型社会形成推進交付金等)	15,500	12,585	15,200	15,200	8,200	△ 4,385
	県費						
	その他(ごみ処理施設整備基金繰入金)	23,000	18,800	37,000	37,000	20,900	2,100
一般財源		11,200	7,607	28,070	28,230	17,406	9,799
個票枝番	主な事業内容						
◎ 1	ごみ処理施設建設	49,700	38,992	76,970	77,130	43,206	4,214

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		132,730
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
159,474	134,837	134,837	54,567	
38,115	33,200	33,200	18,000	
4,000	93,000	93,000	56,000	
117,359	8,637	8,637	△ 19,433	
査定額	説明			
131,537				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設建設に係る技術顧問の任命(2名) ごみ処理施設建設検討委員会の開催(5回) ごみ処理施設建設に係る施設及び敷地造成の基本設計の実施 ごみ処理施設建設に係る周辺環境への影響分析調査の実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設建設検討委員会において処理施設建設に係る基本設計の根幹となる重要事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高)について、環境影響分析調査の結果も踏まえながら、建設検討委員会として検討いただいた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設建設に係る基本設計で考慮すべき事項(エネルギー活用、環境学習機能、防災機能、建築意匠など)について継続して、建設検討委員会でご検討いただき、施設の基本設計をまとめる。 新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえた広報手段を検討しながら、市民に対して積極的な情報発信を図る。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設建設検討委員会の開催(3回) ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回) ごみ処理施設建設に係る施設の基本設計の作成 施設の基本設計に係る市民説明会の開催(市内3箇所 本庁・久々野支所・国府支所) ごみ処理施設の建設敷地造成実施設計の作成 ごみ処理施設建設に係る周辺環境への影響分析調査書の作成
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 施設建設に必要な事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高等)をまとめた基本設計をごみ処理施設建設検討委員会の答申やパブリックコメント、市民説明会等を踏まえて策定した。 地元4町内会と新施設の建設や稼働に関する協定書等を締結した。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、施設の基本設計を踏まえた発注仕様書及び建設事業者選定に係る評価基準等を作成し、施設を建設する事業者を選定する。 新施設の令和8年2月竣工を目指して、施設建設敷地の造成工事を早期に発注する。 事業の進捗状況について、広報たかやま等で市民に情報発信を行う。
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	ごみ処理施設建設に係る設計、工事に必要な経費を計上
---------------------	---------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
-------------------	----------

市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに
--------------	-------------

主要事業個票(令和3年度決算)

事業名	42215 ごみ処理施設建設事業費	区分	<input type="checkbox"/> R3新規	<input checked="" type="checkbox"/> R4新規	会計	1	一般会計	担当課	環境政策部 ごみ処理場建設推進課		
枝番・内容	1 ごみ処理施設建設		<input type="checkbox"/> R3拡充	<input type="checkbox"/> R4拡充		款	4		衛生費	内線	2291
		<input type="checkbox"/> その他重要事業		項		2	清掃費		作成年月		R4.8
		<input type="checkbox"/>		目		2	塵芥処理費				

事業の目的・概要(Plan)

目的	・安全で適正なごみ処理施設を建設する。	概要	・広く住民の理解を得て、ごみ処理施設の建設を進めるため、必要な調査等を行う。 ・ごみ処理施設の設計、建設
----	---------------------	----	---

[参考] R2決算(Do・Check) R3.8時点 (千円)

予算額	当初	700
	繰越	
	補正等	49,000
	最終	49,700
決算額		38,992
対前年度増減額(決算)		21,143

[参考] R3当初予算(Action) R3.3時点 (千円)

予算額	当初	76,970
主な経費	・ごみ処理施設建設に係る各種設計	
	・環境影響調査	
	・用地購入	
	・建設検討委員会の報酬、費用弁償	
対前年度増減額(当初予算)		76,270

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

R3決算(Do・Check) R4.8時点 (千円)

予算額	当初	76,970
	繰越	
	補正等	160
	最終	77,130
決算額		43,206
対前年度増減額(決算)		4,214

R4当初予算(Action) (千円)

査定額	当初	131,537
主な経費	・ごみ処理施設建設	
	・建設敷地造成工事	
	・ごみ処理施設建設事業者選定委員会の運営(報酬、費用弁償)	
対前年度増減額(当初予算)		54,567

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合あり

事業実績、評価等

[事業実績]
・ごみ処理施設建設に係る技術的な指導助言を頂くための技術顧問を設置し、専門家2名に委嘱する。
・技術顧問には、今後設置するごみ処理施設建設検討委員会の委員にも就任いただき、技術的な側面からアドバイスを頂く
・検討委員会の設置、開催(基本設計の作成に伴う重要事項の検討)

[評価等]
・高山市ごみ処理施設建設検討委員会を設置し、ごみ処理施設の基本設計に必要な重要事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高)について、委員会としての方針を取りまとめていただくことができた。

次年度以降の考え方(担当課)	・施設建設に向けた必要な設計調査を実施する。	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善
	・引き続き施設建設検討委員会を開催し、施設の概要について検討を行う。	<input type="checkbox"/> 拡大
	・施設建設について、周辺住民及び議会への説明を継続して実施するとともに、市民に対しても広く周知する。	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input type="checkbox"/> R2完了
		<input type="checkbox"/> R3完了予定

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・検討委員会の開催(基本設計の作成に伴う重要事項の検討)
・施設基本設計の作成(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高など)
・環境影響分析調査の実施(周辺地域への有害物質の拡散状況などの調査)
・建設工事発注のための事業者選定業務発注
・敷地実施設計の策定(排水や施設内道路など敷地造成に関する各種詳細設計)
・用地購入(建設用地の購入)

[スケジュール]
4月～9月 検討委員会による施設の基本構想の作成
5月 敷地造成詳細設計発注
9月 建設工事発注のための事業者選定業務発注
10月 施設基本設計の決定、用地購入

事業実績、評価等

[事業実績]
・ごみ処理施設建設検討委員会の開催(3回)
・ごみ処理施設建設事業者選定委員会の開催(2回)
・ごみ処理施設建設に係る施設の基本設計の作成
・施設の基本設計に係る市民説明会の開催(市内3箇所 本庁・久々野支所・国府支所)
・ごみ処理施設の建設敷地造成実施設計の作成
・ごみ処理施設建設に係る周辺環境への影響分析調査書の作成

[評価等]
・施設建設に必要な事項(施設規模、焼却方式、排ガス自主規制値、煙突高等)をまとめた基本設計をごみ処理施設建設検討委員会の答申やパブリックコメント、市民説明会等を踏まえて策定した。
・地元4町内会と新施設の建設や稼働に関する協定書等を締結した。

次年度以降の考え方(担当課)	・ごみ処理施設建設事業者選定委員会を開催し、発注仕様書等を作成し、施設を建設する事業者を選定する。	<input type="checkbox"/> 維持・改善
	・施設建設敷地の造成工事を発注する。	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大
	・事業の進捗状況について、広く市民に情報発信を行う。	<input type="checkbox"/> 縮小
		<input type="checkbox"/> 廃止検討
		<input type="checkbox"/> R3完了
		<input type="checkbox"/> R4完了予定

事業内容、スケジュール

[事業内容]
・ごみ処理施設の建設工事発注
・建設敷地造成工事の発注
・建設事業者選定委員会の運営 など

[スケジュール]
5月～建設工事の入札公告
6月～建設敷地造成工事の入札公告
9月～建設敷地造成工事発注
9月～12月 建設工事の事業者選定
12月 建設工事の発注

事業シート(令和3年度決算)

事業名	42220	ごみ埋立処理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
				款	4	衛生費		まちづくり戦略	(2)	利便性の高い都市機能とネットワークの構築	
				項	2	清掃費		根拠計画		環境基本計画、ごみ処理基本計画、過疎地域持続的発展計画	
				目	2	塵芥処理費					
担当課	環境政策部	ごみ処理場建設推進課	内線	2960							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・汚水処理施設の適正管理と臭気の発生防止などによる安全な埋立て処理を実施する。	概要	・廃棄物の埋立処理を実施する。 ・汚水処理施設を維持管理する。
----	---	----	------------------------------------

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3				
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	60,059	58,624	69,250	73,022	62,238	3,614	
特定財源							
国費(災害等廃棄物処理事業費補助金1/2)		2,452				△ 2,452	
県費							
その他(使用料・手数料等)	27,212	24,990	27,212	27,212	23,474	△ 1,516	
一般財源	32,847	31,182	42,038	45,810	38,764	7,582	
個票枝番	主な事業内容						
	埋立処分地の管理運営	57,059	57,084	59,250	63,022	53,745	△ 3,339
	埋立処分地跡地活用に向けた調査等	3,000	1,540	10,000	10,000	8,493	6,953

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額		48,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
71,538	63,610	63,610	△ 5,640	
27,111	27,212	27,212	0	
44,427	36,398	36,398	△ 5,640	
査定額	説明			
60,610				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荘川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(312日) 設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査(安定化調査等)を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分を実施した。 近年、空家整理やリフォームの増加による粗大ごみの搬入が増加しており、焼却処理が追いつかず埋立地に仮置きしている粗大ごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。 可燃性粗大ごみの適正処理を実施する。 埋立処分地の延命化対策を検討する。 第1次埋立処分地の有効活用に向けた調査等を継続し、今後の方針を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地(資源リサイクルセンター、久々野クリーンセンター、丹生川埋立処分地、荘川埋立処分地、上宝埋立処分地)の埋立作業及び維持管理作業を実施した。(312日) 設備の点検整備及びダイオキシン類濃度等の調査を実施した。 第1次埋立処分地の跡地活用に向けた調査及び久々野クリーンセンターの廃止に向けた調査(安定化調査等)を実施した。 可動式破砕機の更新を実施した。
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物処理法に規定する維持管理基準を満たしており、臭気が抑えられ、ごみの飛散などが無い、適正な埋立処分を実施した。 空家整理やリフォームの増加による粗大ごみ、新型コロナウイルスの影響による片付けごみが増加している。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 埋立処分地汚水処理施設の適正な維持管理を実施する。 可燃性粗大ごみの適正処理を実施する。 埋立処分地の延命化対策を検討する。 第1次埋立処分地の有効活用に向けた調査や県との協議等を継続し、今後の方針を検討する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・適正な埋立処理、排水等の監視に必要な経費を計上
---------------------	--------------------------

財務部 査定の 考え方	・積算内容を精査
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに